

# 省エネコンサルティングを展開

## 補助金代行申請も

## 工場事業所全体を効率化

ミツバ環境分析リサーチ

エネルギー使用量10%削減を達成、年間約1000万円の電気代を節約できたという。

エネマネ事業者は、補助金活用を希望する事業者の省エネ計画の作成、提案や補助金の申請代行を担うほか、事業採択後の3年間、採択事業者の

環境計量証明などを手掛けるミツバ環境分析リサーチ(桐生市新里町野598、小川克雄社長 ☎0277-7455958)は、企業・団体に対

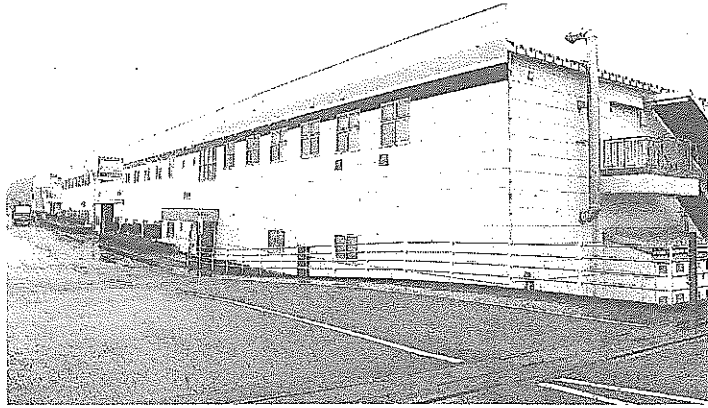


石川部長

する省エネルギー・効率化支援や、省エネ改善支援補助金申請代行などの、省エネコンサルティング事業を展開している。技術専門員(エネルギー管理士)による、電気などのエネルギー使用状況や設備の稼働状況の診断報告に基づき、環境マネジメントシステム(EMS)を導入したエ

ネルギー管理支援サービスを通じて、工場・事業所全体の省エネ・効率化を支援している。

同社は16年4月、環境共創イニシアチブ(SI I)が執行する「16年度エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」のエネルギー管理支援サービス事業者(エネマネ事業者)に登録された。



ミツバ環境分析リサーチの外観

補助金申請において、エネマネ事業者を活用する場合、補助率上限が通常の3分の1から2分の1へ引き上げられるメリットがある。同社の申請代行案件では、16年度、県内の製造業の生産工場を対象にした1件が採択され、総投資額7000万円のうち、半分の3500万円が補助された。

採択事業者は、同社作成の省エネ計画に基づき、電力消費量の大きいエアコンプレッサーを用いたエアブローを連続でなく間欠に使用することで、空気使用量を削減す

エネルギー使用量の推移を監視、目標達成に向け指導・監督する。同社は来年度も資格取得を目指す方針。

石川智治ソリューション部担当部長は「省エネコンサルティングとは、工場や事業所全体の状況を診断し、悪いところを改善していく、省エネ専門のお医者さんと考えている。省エネは電気代などのコスト削減につながり、業績にも貢献できる。各制度を活用しつつ、顧客に役立てるように取り組みたい」と話している。

(久間田貴志)